

ISGC2018

Workshop on Learning Analytics and Assessment Strategies

E-Portfolio Analytics for Team-based Learning

Kwanseigakuin University / Kansai University

Maki OKUNUKI

In last conference

- E-Portfolio for encouraging and supporting university students to develop their career, especially job hunting activities.

ex. Advising about writing skill and attitude from advisor to make Entry sheet like a resume.

Challenges

1. How to analyze learning process by using E-Portfolio?
Especially Project-based Learning by team
2. What are the reliable data for PBL/TBL analytics ?

1. How to analyze learning process by using E-Portfolio?

Case program of Project-based Learning by team

1-1 Active learning in life

- We and students are lifelong and active learners.
 - We develop each career in various contexts in real world through life.
 - Students should attain reflective learning mind and meta-cognitive reflective writing to learn sustainably.

1-2 Work integrated learning (PBL/TBL)

- Programs include cooperative education, collaborative education, learning in the workplace and the community.
- There are stakeholders:
student, university, university
coordinator, workplace, workplace supervisor/coordinator,
host organization in the work integrated learning process.
(Cooper, Lesley et al. 2010)
- Stakeholders are team members to challenge to PBL/TBL .

1-3 Case of Program

“Hands-on Internship” in Kwanseigakuin University

“Come out of your shell and learn outside of classroom!”

- The Hands-On Internship Practicum is a practical educational program in which students engage in problem-solving projects at host companies, organizations, and underpopulated local area for about 6 weeks.

Ex. Regional vitalization finding community resources and proposing idea of utilizing them

- This program is designed not for job hunting.
 - ➔ becoming students inspired to learn or aware of their own career development
- Students learn as team members of companies, organizations and local communities like teams in real world.

まいふれ with YOU



ふるさと納税で日本を元気に！～伊丹市～
Smile-Yamすみれ家「焼菓子たっぷりセット」



天然酵母と無添加のでづくりぱん
がおさん家のぱん屋
伊丹市昆陽東1-5-6

岸本吉二商店



岡山 北木島 K's LABO



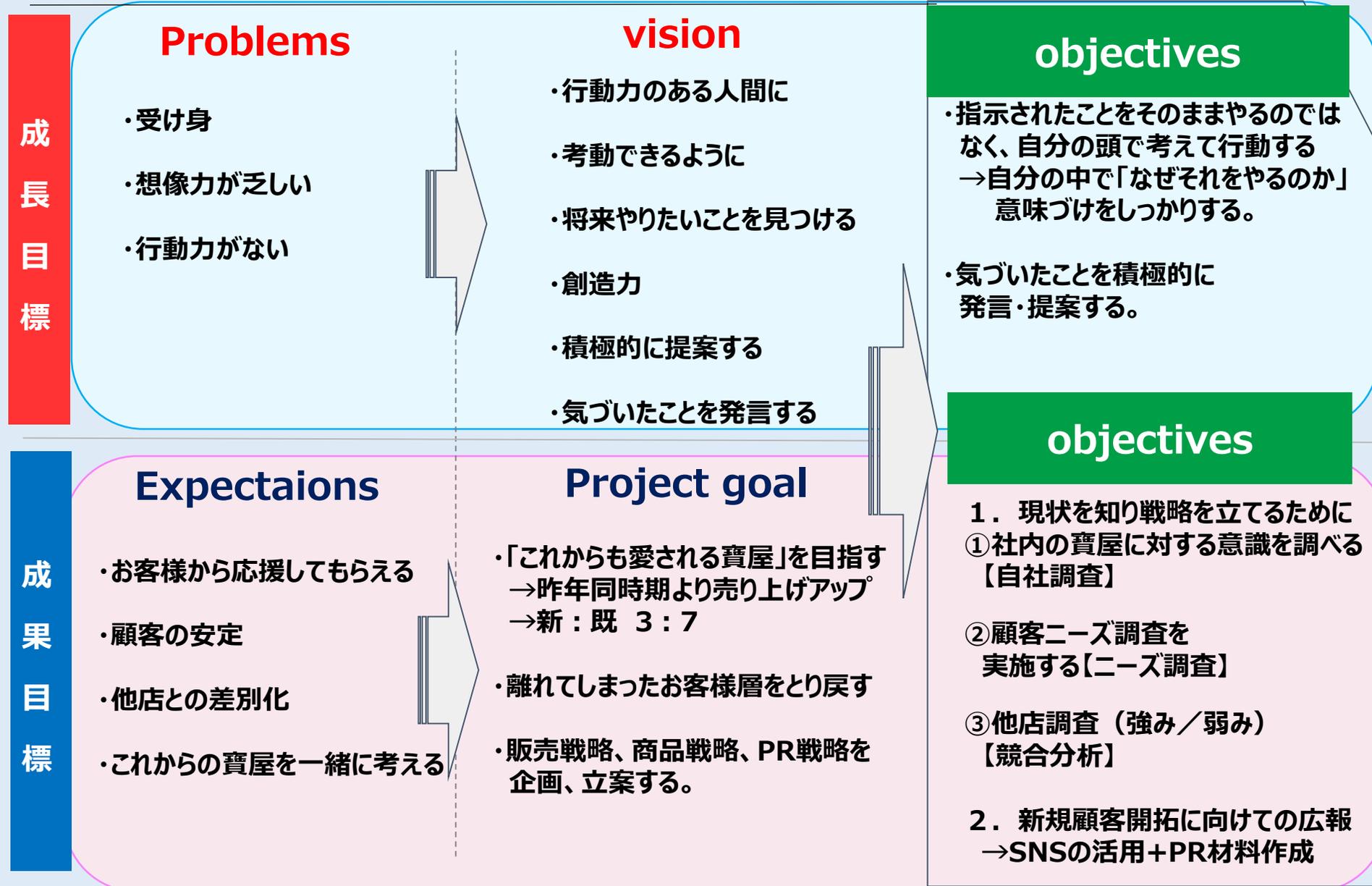
羽咋郡志賀町
志賀町まち・いえ・ひとづくり協議会



Mutually beneficial program and partnership build a good relationship



Student's goal & objectives sheet built consensus among stakeholders



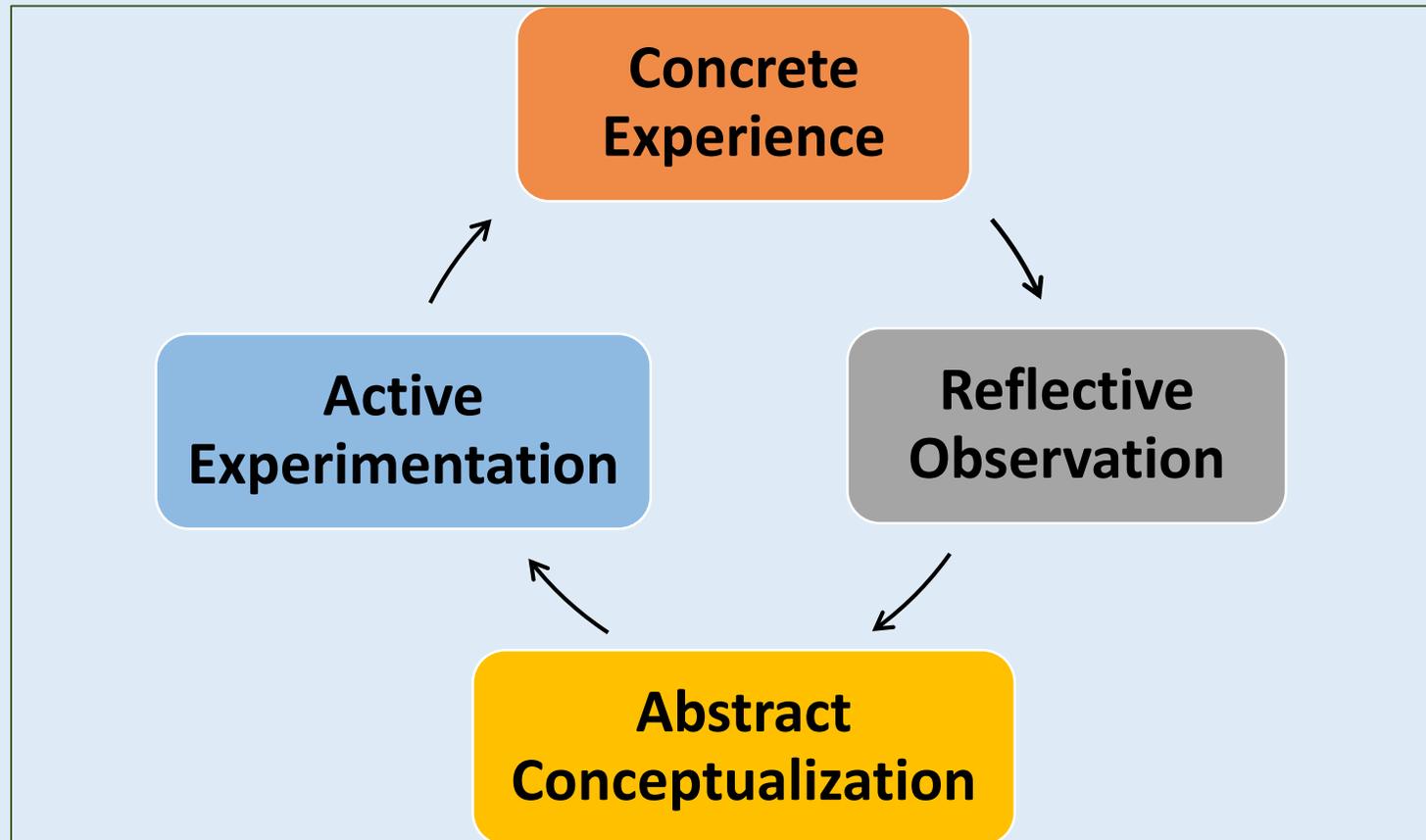
1-4 Feature of this work integrated learning

- Students gain not only a simple work experience program but also a real sense of self growth through experiential learning in a process of the Experiential Learning Cycle (Kolb).
- the faculty and staff in the Hands-On Learning Center act as “mentors” for the students, providing them with thorough support and guidance throughout the course.

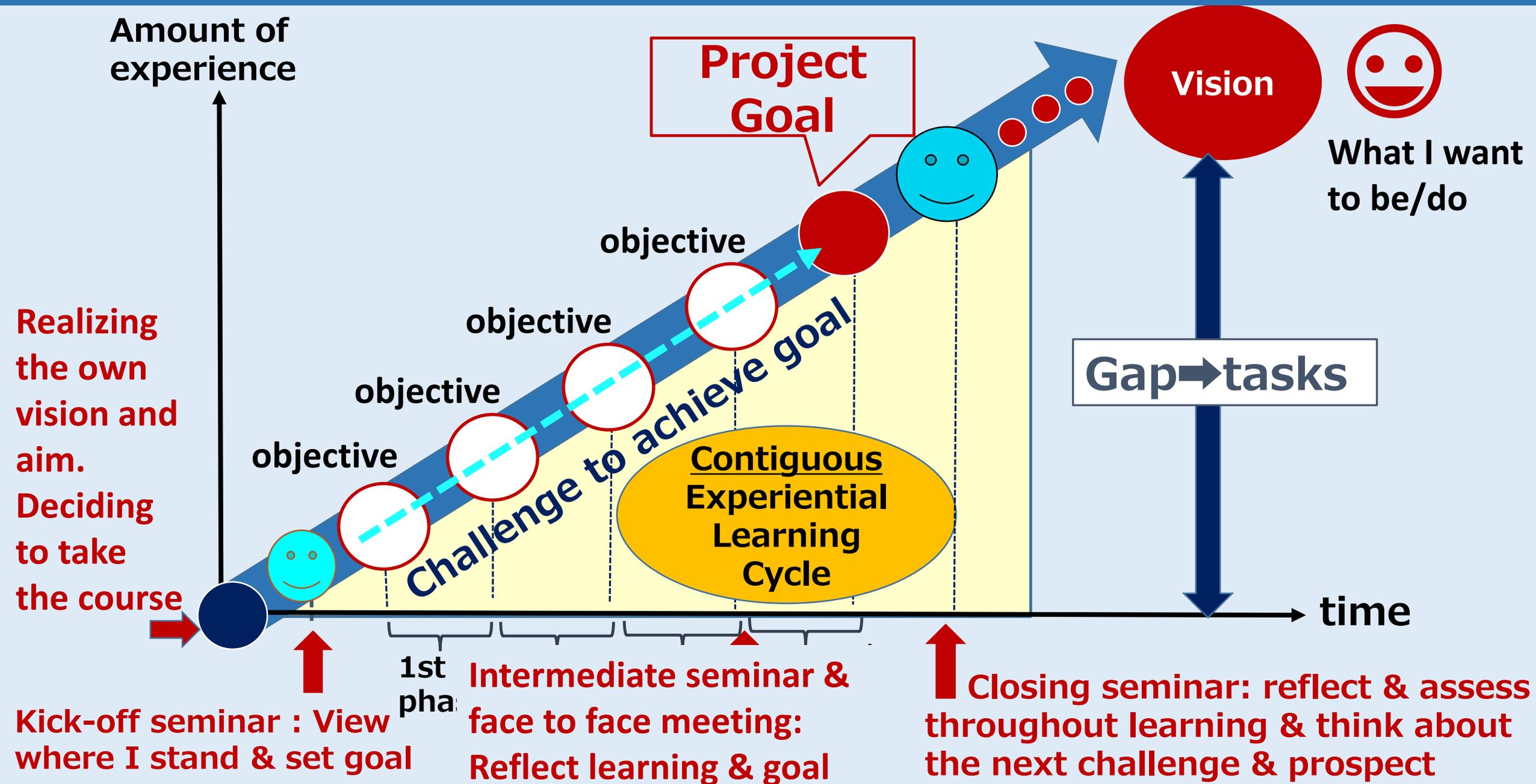
How do students reflect their experience ?

**Students' meta-cognitive reflection to explain
What they learned through the experience**

The Experiential Learning Cycle (Kolb 2014)

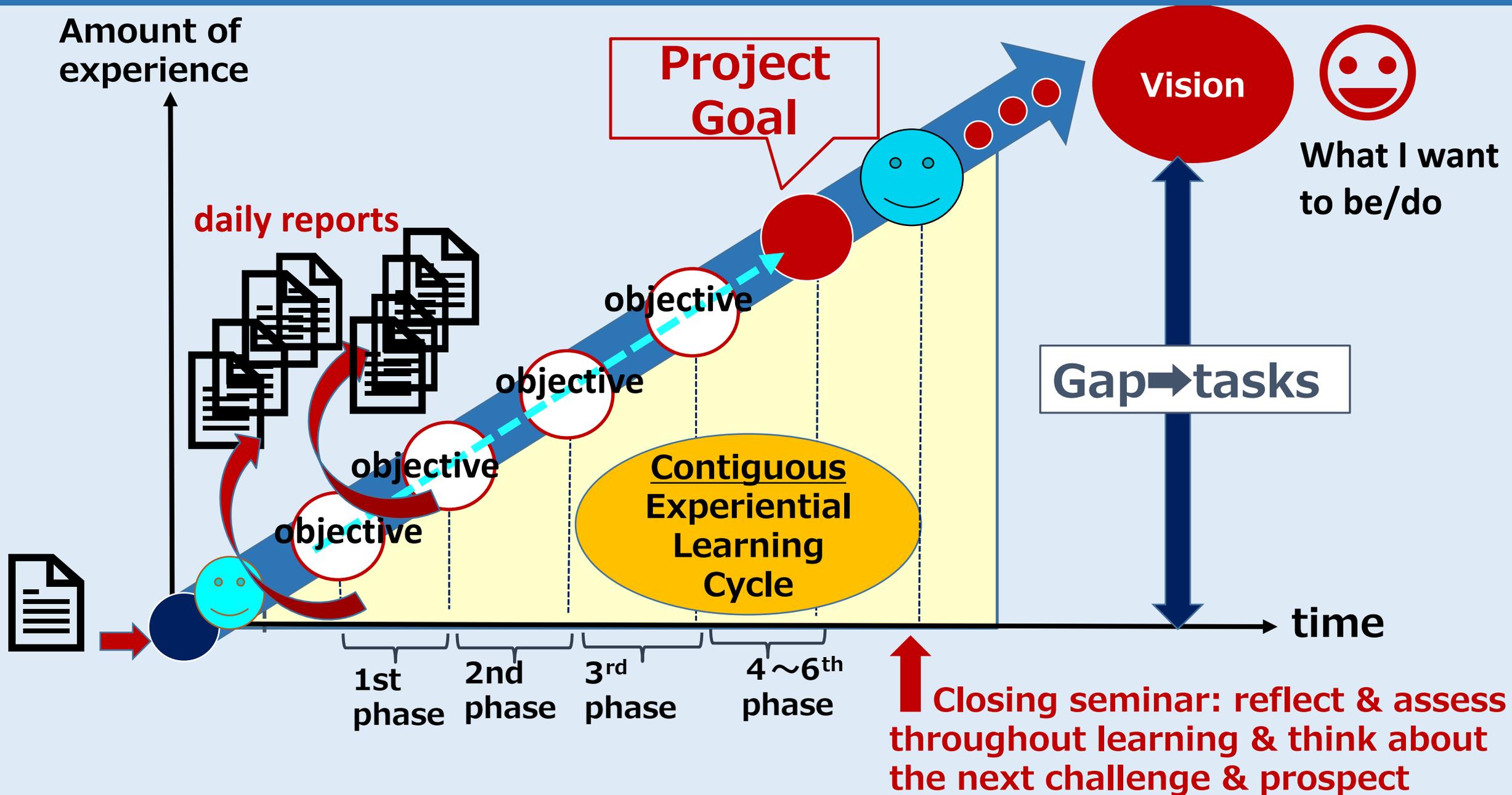


1-5 Learning Process and reflection



2. What are the reliable data for analytics ?

Learning Process and reflection



日報の例（配布資料を参照）

件名：【日報】 2/9（金）インターン生（山本）5日目

木田さん
社員の皆さん
(Cc :)

お疲れ様です。
インターン生の山本です。
本日もありがとうございました。
やっと会社にも慣れてきました。
新しいことばかりですが、楽しいです。
もっともっと積極的に他の社員さんにもお話を聞き、吸収していきたいと思います。
本日の日報です。
ご確認のほど、よろしくお願い致します。

Example of
a daily report
(Students use e-mail
or “chat work”)

①ゴールの確認 **Project goal**

自己成長目標：信頼され頼りにされる自分になる

仕事貢献目標：新しい顧客層の開拓に向けて的確な打ち手を提案する

②**今週の目標 objectives of this week**

- ・既存の顧客分析を行い、顧客の細分化と来店動機・購買理由・ニーズを明らかにする。

③**今日の目標 objective of today**

- 1.顧客アンケートの整理・集計
- 2.顧客分析資料の作成

④**仕事内容 activities**

- 09:00 出社・掃除・朝礼
- 09:30 上司の木田さんと今日の仕事の確認
- 10:00 顧客アンケートの集計と整理
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 顧客アンケートの分析資料の作成
- 16:00 上司の木田さんに進捗報告
- 17:00 明日の仕事準備・日報
- 18:00 退社

⑤**目標に対しての結果 outcomes**

- 1.顧客アンケートの整理・集計（完了）
- 2.顧客分析資料の作成（進行中）→資料の項目まで仮で作成。

Guide of daily report

⑥良かった点 **Good points of my action and thinking**

- ・顧客分析の資料など初めての経験だったが、「何のために何に使い、どんな情報が必要なのか」自分から確認できて良かった。昨日、伝えられた時は「わかりました」と伝えたが、帰ってから今日の仕事をイメージした時にイメージできなかった。夜寝る時に明日の確認事項を洗い出せたことが今日の仕事をより良く進めれる要因になった。

⑦難しかった点 **Difficult points to do and understand**

- ・顧客分析資料の項目を作る際に、ある程度自分で作ってみたが、わからない項目も出てきて、結局3時間ずっと同じところで悩んでいた。途中で質問すれば、今日のうちにできたということを進捗報告で知ることになった。傷の浅いうちに早めに相談することを心がけたい。

⑧気づき・学び **awareness and learning outcomes**

- ・アンケートの無記載項目が多い。
- ・アンケートを取るタイミングや方法を考えられるかもしれない。
- ・社員のみなさんは普段の生活から意識して他の店舗や競合店を観察している。
- ・質問のタイミングや内容は難しいが、しないよりした方がいい。
- ・積極的に質問する中で、タイミングや質問内容の質を上げていきたい。

⑧報告・連絡・相談 **Report, communication, and consultation**

- ・顧客分析資料の項目を仮でまとめてみましたので、ご確認をお願いします。
- ・明日はアルバイトがあるため、17:00に退社させていただきます。

⑨明日の目標 **objective of tommorow**

- 1.顧客分析資料の項目の確定
- 2.全体スケジュール管理資料の作成

A daily report written by student

feedback on each report by course coordinator

3月14日（水）
日報を作成しました。ご確認のほど、よろしくお願
いいたします。

【ゴールの確認】

- ・成長目標：自分のことは自分でできるようになる
- ・成果目標：新規利用者を3人増やす
- ・行動目標：家事をこなす。相手に興味を持ち、積極
的に話しかける。3つの提案をする。

【今週の目標】

- ・成長目標：今後の生活の目標を見つける。
- ・成果目標：参加者が会員になりたいと思っ
てもらえるようなイベントにする。
- ・行動目標：自分がすべきと思ったことに、積極
的に取り組む。

【今日の目標】（前日に立てた明日の目標）

- 1 イベント振り返り
- 2 お礼のメール
- 3 会員紹介

【本日の活動報告】

- 09:00 日報作成
- 10:00 掃除
- 10:30 FB記事作成
- 11:30 お礼メール送信
- 12:15 昼休憩
- 13:15 アンケート結果まとめ
イベント振り返り
- 18:50 帰宅
- 22:30 日報作成

【今日という一日の振り返り】

今日は、イベントアンケートのまとめを重点的に行
った。アンケートは新規の方からいただいたが、結

果を見るとCO-LABOを初めて知った方が4割を占め
ていた。その4人中3人がCO-LABOのFBを見て応募
してくださっている。何がきっかけでその方のFBペ
ージにCO-LABOの記事が流れたのかはわからない
が、**FBの宣伝力を感じた**。CO-LABOのFBは300人
以上のいいね！があり、会員の方なども友達の数が多
い。その力を使えば、日本全国に広がることになる
。現に、**今回のイベントページは2,908人にリー
チしている**。もちろんその全員がじっくりと記事を見
てくれているわけではない（イベントページまで行
ったのは、10分の1の**290名**）が、その中で3人が実際
に足を運んでくださったのは、大きい。今後も、FB
はしっかりと活用して行ってほしい。

**また、今日の午前中に昨日の参加者の木村さんが
CO-LABOに来てくださった。木村さんは白山の方な
ので、会員になっていただけのかわからないが、
CO-LABOに興味を持っていただけるといえるだろ
う。**

【周りからの学び・気づき】

インターンシップという制度は、非常に貴重な体
験。

【明日の目標】

- 1 会員紹介
- 2 イベント振り返り

【今のモチベーションとその理由】

「ヤル気満々／けっこうヤル気／ふつう／ちょっと
へこんでいる／かなりおっくう」から選択。

→けっこうヤル気

その理由：いよいよ残り2日となってしまったから。
この1か月をしっかりと振り返りたい。

.....
小宅七海さん

こんにちは。奥貫です。

インターン、お疲れ様です。

13・14日の日報を確認しました。

日報は当日提出が難しい場合は、その一言をご連絡
くださいね。

さて、13日のイベント、お疲れ様でした。

イベント企画・運営、そして宣伝、フォローまで貴
重な経験ができましたね。

上手くいったことも反省点もあったのは、

今後のために良いことだと思います。

すでに行ったかもしれないませんが、それらの内容は
CO-LABOの皆さんが
共有知として今後活用できるようにまとめましょ
う。

また、いずれも経験を通して気づいた小宅さん自身
の強みと課題が
含まれていると思いますので、今後の挑戦に生かし
てほしいです。

参加者が翌日に訪ねてくださったとのこと。

イベント参加の次のアクションをしてくださった方
がいたのは、嬉しかったですね。

そしてCO-LABOの趣旨からして、アフターフォロー
はとても大切ですね。

Facebookのイベント告知は多くの人に見てもらっ
たのですね。

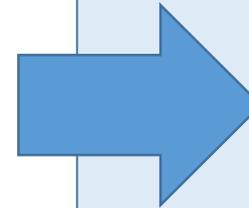
それを見た人のうち、約0.1%の人が参加=アクシ
ョンしてくださったという結果。

より多くの人にFBの記事を見てアクションしてもら
えるよう、
魅力的な記事やこまめな発信などが必要なものでし
ょうね。

そういう点でも小宅さんの貢献があったのではない
でしょうか？

さて、予定では明日がインターン最終日ですね。

今日の予定に「イベント振り返り」と書いていまし
たが、



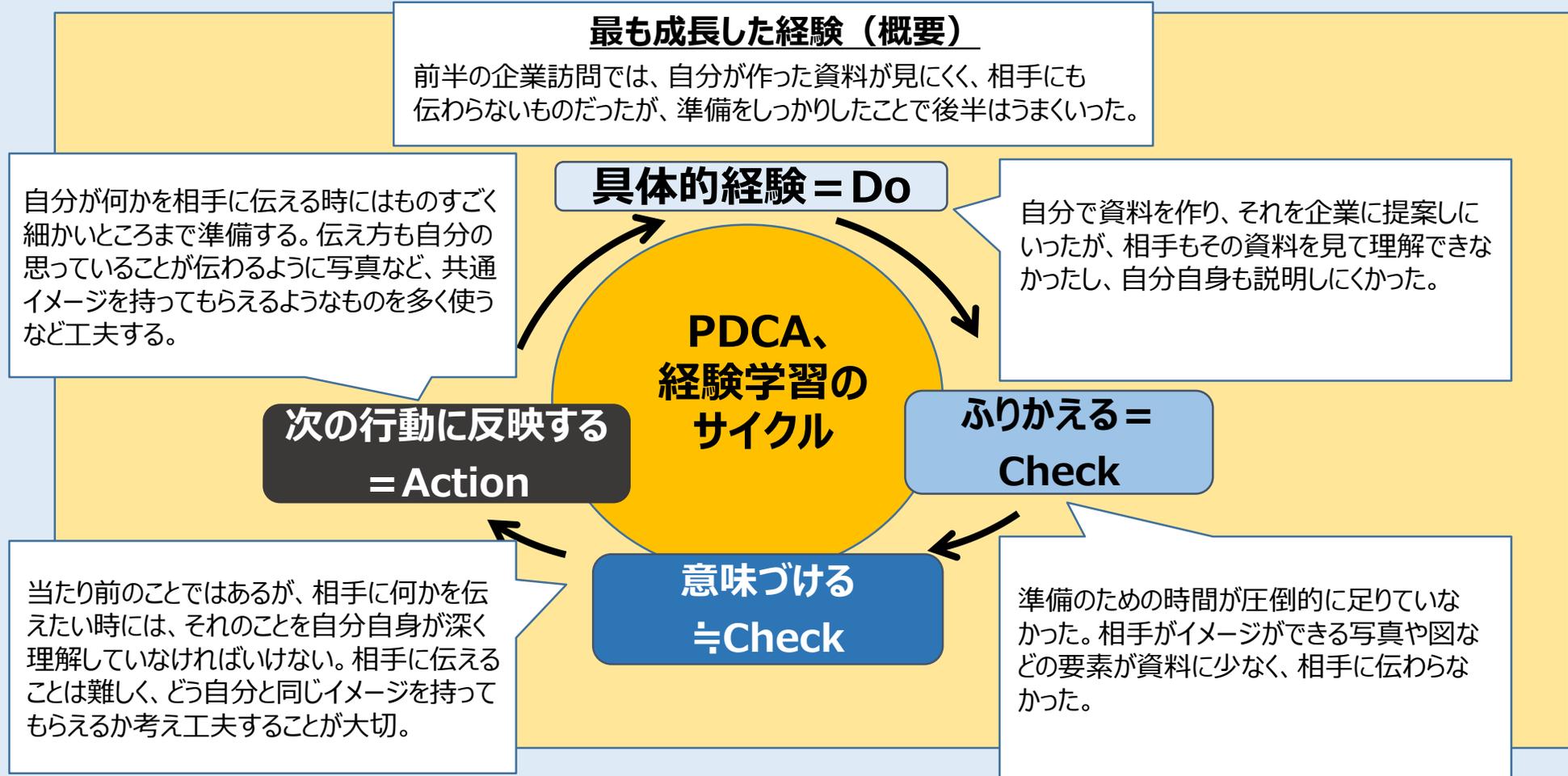
Reflection sheet including all phases from entry the program to closing seminar.

Student reflect own learning process and checks that they accomplish the goal.

2017年度春学期 ハンズオン・インターンシップ ふりかえりシート		学年:	1	年	学部:	経済学部	学部		氏名:	村上 紗	
インターン当初の目的・目標		目的:	自分の強みや課題を1回生という早い時期に見つけ、大学生活で何をしていくべきかはっきりさせたい。								
		目標:	臨機応変に対応できる人、頼りに人にされる人になる。								
※パソコンで入力して作成し、以下の指示に従うこと →①作成したファイルを添付してハンズオンラーニングセンターのメールアドレス宛に9/13(水)までにメール提出											
※以下を作成するにあたり、事前研修、現地中間研修で作成したシート類、インターン中に修正・進化した目標設定、日々の日報の内容などをふりかえり											
私の変化	始める前	1週目	2週目	3週目							
自分から見た自分 ・意欲や姿勢 ・考え方や価値観 ・働くこと ・課題 ・その他	自分で考えて行動できないことが多い 強みを見つけたい 自分に自信をつけたい	社会人マナーを頑張ろうと思った。 電話応対を学んだが、なかなか実践できない。 学んだだけで終わることなく実践していきたいと感じた。	サマセミを終えて、授業をすることの楽しさ、達成感を知ることができた。 27日の森フェスに向けて、イチからの企画を頑張っていこうと感じた。	石けん作り案へのこだわりを強く持ち、自分自身が楽しみながら授業構成を考えることができた。石けん作りの企画を一人で任せていただけるということで、以前より自分で考えて動けるようになってきたと感じる。							
社会(他者)からの評価 ・会社や上司 ・お客様 ・インターン仲間 ・身近な人(家族・友人等) ・その他	自信を持って行動できていない 自分の意見を持っているのに、言葉にできていない。自分の考えがあっても自分の意見を言う前に先に人の考え・意見を聞いてしまう。 大人しそうなイメージ	工作が上手(水と油のバベット作り) キックオフでのアドバイスをもとに(イベント前日からの)行動力発揮(スクリプト作成など)	石けん作りへのこだわり、やり遂げる力を感じた。 会計係など、仕事に責任感を持っていた。 人の目を見て話したほうがいい。	1つのことにとらわれがちで、どんなかやってみるのがあまりできていなかった。 お互いのことがよく分かるようになってきた。							
目的	自分の強みや課題を見つけたい	おそうじ塾について知る	イチからの企画に挑戦する	イチからの企画に挑戦する							
成長目標	周りをよく見て、自分で考えて行動できる人になる	8月6日のサマセミイベントで子どもたちに楽しんでもらえるように授業に工夫を施す(相手の視点に立つて物事を)	企画をして実行するまで(仕事を責任を持ってやり終える)	子どもの気持ちになって授業内容を工夫しアイデアを出していく(相手を持ちになる)							
成果目標	1人でも多くの子どもや達成感を実感 企画の提案を生かす			石けん作り案を練り直す 自分の習慣に繋がる授業構成(する)							
行動目標	積極的に自分で組む			時間の中で今からできることを多く							
会社からの期待	将来的におそうじしていくための持続効果検証			の企画案を考え、広めるために広							
具体的な業務内容・役割	授業の企画・実効果検証			をする アポイントを取り、今後							
自己評価内容	成長目標に対して	自分で考えて行動していると感じる	の工夫(油と水のバベット作成)。クイズ形式の授業に挑戦した。	た。授業の企画から実行 持って一つ一つ取り組ん							
	成果目標に対して	企画をすることは初めての挑戦であるが、子どもたち目線に立って企画を頑張る	油漏れ対策の提案ができた。紙粘土とボンドを使うというアイデアを出すことができた。実際に油が漏れなくな	石けん作りで終わることの 授業構成を考えていこう							
	行動目標に対して	積極的に進んで行動することを常に意識しておく	実験を重ね、油が漏れないことが実証された。	目的・目標から外れないこと、そして一番に子どもたちのことを考えた上での企画の提案ができたと感じる。							
ターニングポイントになった出来事 (成功や失敗などの事実)	姉の就活をそばで見ている、自分の強みは何なのかははっきりわからない自分に焦りを感じ、発見するために自分を見つめる時間が必要だと感じた時	成果目標に向けて取り組み、出てきたアイデアが、目標以外の部分においても良い結果を生み出した。油漏れ対策のために紙粘土はどうかと提案した。油漏れがなくなった上に、紙粘土を使うことで子どもたちの工作への楽しみが1つ増えたようだった。	サマセミとこれまでのインターンの振り返りをしたこと。振り返る中で、27日の森フェスに向けて改善すべき点が明確になり、今後のインターンの中で挑戦すべきことが具体的に	会社の方のお子さんに石けん作り体験してもらうことで、本番までに善すべき点を発見することができ							
影響を受けた	1回生にしかできない、しておくべきことがたくさんある。大学生活はあつという間、自分を知る機会に	キックオフでアドバイスをいただくことができた。スクリプトを作ってみようと思った。本番集まらないためには、シキ	自分の思っていることを言葉にした方が良いと須藤君から言われた。 これをきっかけに、自分の考えを相手	会社の方のお子さんから石けん作りの感想を聞くことができた。お母さんからもアドバイスをいただいた。							

Reflection sheet of Turning point

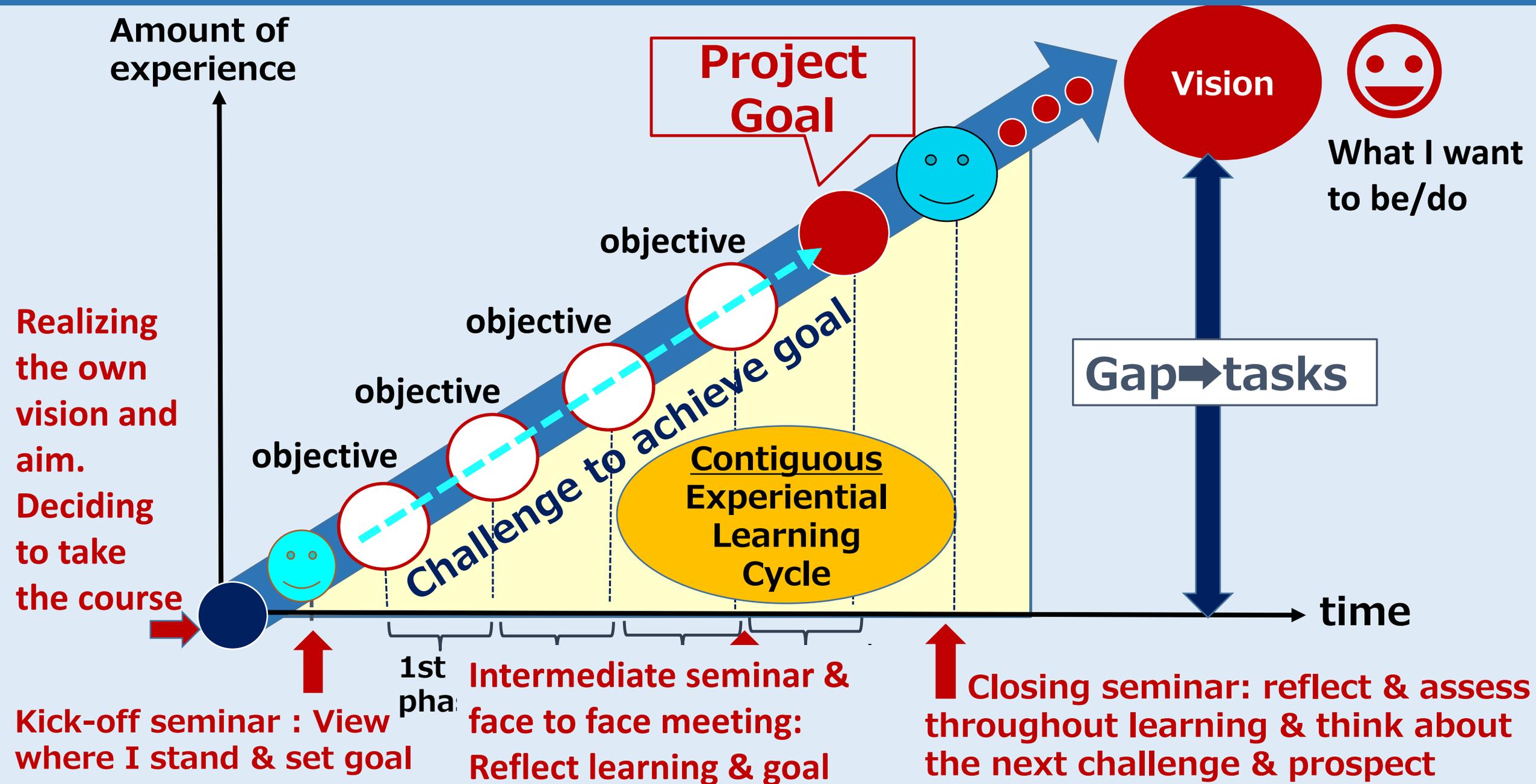
「自分が最も成長したと思うターニング・ポイント」のふりかえりと言語化



この経験を通して、どのように自分は成長したと言えるか？

準備をすることの大切さと、相手との共通認識を持つ（持ってもらう）ことの大切さに気づくことができ、それを学ぶことができたことが、自分にとって、とても大きな成長だと感じています。

Learning Process and reflection



E-Portfolio can archive data and students' proofs of accomplishments in reflective writing

But . . .

Way, tool, frequency, supporter for reflection

have effects on learning process, outcomes and analytics.

After finishing of the course, reflection depend on Students' memories.

Students' memories are not reliable data?

➔ Reflections in each phase as I showed can be reliable data.

I 'll analyze and assess work integrated learning next time

by Modified Grounded Theory Approach (M-GTA) and another qualitative assessments.

Thank you for your attention.